

学期	月	週	時数	単元名	内 容	
1 学期	4 月	1	0	朝のリレー 野原はうたう 言葉を調べる はじまりの嵐 情報を聞き取り、要点を伝える 漢字を分解してみよう	・音読 ・詩の読解 ・表現技法 ・詩を作る。 ・文学的文章の読解 ・情報を的確に聞き取ったり、聞き取った情報を伝えたりする。・点画の種類を確かめる。	
		2	4			始業式・入学式
		3	4			
		4	4			
	5 月	5	2	漢字の筆使い 話の構成を工夫しよう 音声の仕組みや働き 漢字の組み立てと部首 ダイコンは大きな根？ ちょっと立ち止まって 比較・分類	・漢字の筆遣いに注意して楷書で書く。 ・話の構成を考えてスピーチする。 ・音声の仕組みと働きを理解する。・漢字の組み立てと部首について理解する。 ・説明的文章の読解 ・文章の構成を捉える。 ・情報の整理の仕方を理解する。	
		6	4			
		7	3			遠足(1)
		8	3			
		9	2			運動会
	6 月	10	4	情報を整理して説明しよう 指示する語句と接続する語句 空の詩三編 さまざまな表現技法 比喻で広がる言葉の世界 楷書に調和する仮名 文字の大きさと配列	・情報を集め、整理し、構成を考えて文章にまとめる。 ・指示する語句と接続する語句の役割を理解する。・詩の読解 ・表現技法 ・詩を作る。 ・表現技法を理解する。 ・楷書に調和する仮名で書く。	
		11	3			定期考査
		12	4			
		13	4			三者面談
	7 月	14	3	言葉のまとまりを考えよう 心情を表す言葉 情報収集の達人になろう 読書を楽しむ 本の中の中学生 読書案内 文字の歴史を探る	・言葉の単位について理解する。・気持ちを表す言葉を適切に使う。 ・著作権について理解する。・さまざまな読書活動を知る。 ・読書により知識や情報を得る。	
		15	3			修学旅行(3)
		16	2			終業式
2 学期	9 月	17	4	大人になれなかった弟たちに…… 星の花が降るころに 項目を立てて書こう 推敲 方言と共通語 行書の特徴 行書のスイッチを入れよう	・文学的文章の読解 ・文学的文章の読解 ・案内文を書く。 ・文章を推敲する。・方言と共通語について知る。・行書の特徴を知る。	
		18	4			
		19	4			定期考査
		20	4			生徒会選挙
	10 月	21	4	聞き上手になろう 漢字の音訓 「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ 意見と根拠 根拠を明確にして書こう 言葉の関係を考えよう 大阿蘇 点画の変化	・聞き方や質問の仕方を学ぶ。・漢字の音訓を理解する。 ・説明的文章の読解。・文章の構成を捉える。 ・資料を引用してレポートを書く。 ・文の組み立てを知る。・詩の朗読 ・行書の書き方を理解する。	
		22	4			
		23	4			学芸発表会
		24	4			
		25	3			三者面談(3)
	11 月	26	4	古典の世界 いろは歌 蓬萊の玉の枝 今に生きる言葉 「不便」の価値を見つめ直す 点画の連続	・歴史的仮名遣いに注意し、古典に親しむ・古文に慣れ、古典の面白さに触れる。 ・訓読の決まりを知る。・故事成語について知る。 ・説明的文章の読解。・文章の構成を捉える。 ・行書の書き方を理解する。	
		27	4			ロードレース
		28	4			定期考査
		29	4			
	12 月	30	4	原因と結果【話し合い(進行)】 話題や展開を捉えて話し合おう 研究の現場によろこそ 読書案内 百人一首 書き初め	・原因と結果の関係を理解する。・話し合いの進め方を理解し、話し合う。 ・感想を伝え合う。 ・古典に親しむ。・楷書と行書の違いに注意して書く。	
		31	4			三者面談
		32	3			
33		2	終業式			
3 学期	1 月	34	2	百人一首 少年の日の思い出 単語の性質を見つけよう	・古典に親しむ。 ・文学的文章の読解 ・単語について理解する。	
		35	3			始業式
		36	4			百人一首
		37	2			
	2 月	38	3	二十歳になった日 構成や描写を工夫して書こう 漢字の成り立ち	・文学的文章の読解 ・体験を基に随筆を書く。 ・漢字の成り立ちについて理解する。	
		39	3			校外学習(2)
		40	3			作品展
		41	1			定期考査
	3 月	42	3	1年間の学びを振り返ろう ぼくがここに	・情報を整理し、発表する。 ・詩の読解	
		43	2			遠足(3)
		44	1			卒業式
45		0	修了式			

学期	月	週	時数		単元名	内 容
1 学期	4 月	1	0		見えないだけ アイスプラネット 意見を聞き、整理して検討する 単語をどう分ける？ 魅力的な提案をしよう	・音読 ・詩の読解 ・表現技法 ・文学的文章の読解 ・意見を聞き、内容を整理して伝えたいことを話す。・自立語について理解する。 ・資料を示して、プレゼンテーションをする。
		2	4	始業式・入学式		
		3	4			
		4	4			
	5 月	5	4		点画の省略 枕草子 クマゼミ増加の原因を探る 思考の視覚化 情報を整理して伝えよう 熟語の構成	・点画の省略を理解して書く。 ・自分流「枕草子」を書く ・説明的文章の読解 ・文章の構成を捉える。 ・情報を整理し、活用する。 ・職業ガイドを作る。 ・熟語の構成を知る。
		6	4			
		7	4	遠足(1)		
		8	4			
		9	2	運動会		
	6 月	10	4		短歌に親しむ 短歌を味わう 言葉の力 類義語・対義語・多義語 筆順の変化 行書に調和する仮名	・短歌の創作 ・短歌を音読し、内容を理解する。 ・文学的文章の読解 ・類義語・対義語・多義語について知る。 ・筆順の変化に注して書く。 ・行書に調和した仮名の書き方を理解して書く。
		11	3	定期考査		
		12	4			
		13	2	三者面談		
	7 月	14	2		抽象的な概念を表す言葉 メディアの特性を生かして情報を集めよう 読書を楽しむ 翻訳作品を読み比べよう	・抽象的な概念を表す語句について理解する。 ・集めた情報を活用する。 ・読書により知識や情報を得る。
		15	2	修学旅行(3)		
		16	2	終業式		
2 学期	9 月	17	4		ヒューマノイド 字のない葉書 表現を工夫して書こう 表現の効果を考える 敬語 行書の仮名の調和	・文学的文章の読解 ・文学的文章の読解 ・手紙や電子メールを書く。 ・相手などを考慮して表現方法を考える。 ・敬語について理解し、話や文章の中で使う。・漢字の行書と調和した仮名の書き方を理解して書く。
		18	4			
		19	3	定期考査		
		20	4	生徒会選挙		
	10 月	21	3		聞き上手になろう 同じ訓・同じ音をもつ漢字 モアイは語る 根拠の吟味 適切な根拠を選んで書こう 月夜の浜辺 楷書と行書の使い分け	・質問で思いや考えを引き出す。 ・同じ訓・同じ音の漢字を使い分ける。 ・説明的文章の読解 ・文章の構成を捉える。 ・適切な根拠を選んで意見文を書く。 ・詩の読解 ・目的や必要に応じて、楷書と行書を使い分けて書く。
		22	4			
		23	3	学芸発表会		
		24	4			
		25	4	三者面談(3)		
	1 1 月	26	4	ロードレース	平家物語 扇の的 仁和寺にある法師 漢詩の風景 君は「最後の晚餐」を知っているか 「最後の晚餐」の新しさ 行書を活用しよう	・音読・登場人物の思い・歴史的仮名遣いの確認 ・音読 ・内容の理解 ・返り点や訓読方法を確認する。・漢詩の構成や内容を理解する。 ・説明的文章の読解 ・文章の構成を捉える。 ・説明的文章の読解。 ・文章の構成を捉える。・生活の中で行書を生かして書く。
		27	4	定期考査		
		28	4			
		29	4			
	12 月	30	4	三者面談	具体と抽象 話し合いの流れを整理しよう「走る。走らない。走ろうよ。」 立場を尊重して話し合おう 「自分らしさ」を認め合う社会へ 百人一首 書き初め	・意見と根拠、具体と抽象などを理解する。 ・用言の活用を理解する。 討論で視野を広げる。 感想を伝え合い、考えを深める。・古典に親しむ。 ・楷書と行書の違いに注意して書く。
		31	4			
		32	4			
33		3	終業式			
3 学期	1 月	34	2	始業式	百人一首 走れメロス 一字違いで大違い	・古典に親しむ。 ・文学的文章の読解 ・付属語の理解
		35	3	百人一首		
		36	4			
		37	3			
	2 月	38	3	校外学習(2)	描写を工夫して書こう 話し言葉と書き言葉 送り仮名	・心の動きが伝わるように物語を書く。 ・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・送り仮名の付け方を理解する。
		39	2	作品展		
		40	2			
		41	2	定期考査		
	3 月	42	2	遠足(3)	国語の学びを振り返ろう 鍵	「国語を学ぶ意義」を考え、コピーを作る。 ・詩の読解
		43	2			
		44	2	卒業式		
45		0	修了式			

学期	月	週	時数	単元名	内 容	
1 学期	4 月	1	0	世界はうつくしいと握手 意見を聞き、適切さを判断する 「走って」いるのは誰？ 行書を深めよう1	<ul style="list-style-type: none"> 詩の特徴を生かして朗読する。 文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉える。 相手の意見を聞き、適切さを判断するために、どのような点に注意して聞いたかを挙げる。 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。 行書の運筆について確認する。 	
		2	2			始業式・入学式
		3	3			
		4	3			
	5 月	5	1	説得力のある構成を考えよう 相手や場に応じた言葉遣い 学びて時に之を習ふ——「論語」から 作られた「物語」を超えて 行書を深めよう1	<ul style="list-style-type: none"> 自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫する。 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使う。 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使う。 文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉える。 行書の書く。 	
		6	3			
		7	3			遠足(1)
		8	3			
		9	2			運動会
	6 月	10	2	具体化・抽象化 グラフを基に小論文を書く 俳句の可能性 言葉の釣り糸を垂らす	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んだり書いたりするときには、具体と抽象の関係についてどんなことに注意すればよいか、確認する。 軸となる意見を決め、適切な根拠を選ぶ。 多様な読み手を説得できるよう、論理の展開を考え、文章の構成を工夫する。 好きな俳句を選び、鑑賞文を書く。 筆者のものの見方や考え方について考える。 	
		11	2			定期考査
		12	3			
		13	3			三者面談
	7 月	14	3	和語・漢語・外来語 報道文を比較して読もう 情報の信頼性 論理の展開を整える	<ul style="list-style-type: none"> 語感を磨き語彙を豊かにする。 実用的な文章を適切に読み取るには、どのようなことに注意するとよいか、自分の言葉でまとめる。 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 	
		15	3			修学旅行(3)
		16	3			終業式
2 学期	9 月	17	3	挨拶——原爆の写真によせて 故郷 慣用句・ことわざ・故事成語 行書と仮名を調和させて書こう	<ul style="list-style-type: none"> 作者の思いや訴えを表すうえで、特に効果的だと感じた表現を挙げる。 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考える。 語感を磨き語彙を豊かにする。 行書と仮名のバランスを考えながら書く。 	
		18	3			
		19	2			定期考査
		20	3			生徒会選挙
	10 月	21	3	質問で相手の思いに迫る 漢字の造語力 複数の意見を読んで、考えよう 多角的に分析して批評文を書く	<ul style="list-style-type: none"> 話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりする。 学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れる 論説の文章を比較して読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする。 関心のある事柄について批評するなど、自分の考えを書く。 	
		22	2			
		23	2			学芸発表会
		24	3			
		25	2			三者面談(3)
	1 1 月	26	2	「ない」の違いがわからない？ 初恋 古今和歌集 仮名序 君待つと——万葉・古今・新古今 夏草——「おくのほそ道」から	<ul style="list-style-type: none"> 単語の類別について理解するとともに、単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解する。 「初恋」という詩から読み取った思いと自分の経験とを結び付けて想像させる。 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむ。 	
		27	2			定期考査
		28	3			
		29	3			
	12 月	30	3	それでも、言葉を 話し合いを効果的に進めよう 書き初め	<ul style="list-style-type: none"> 論説などの文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする。 互いの考えを生かしながら議論や討論をする。 課題文字を全体のバランスに気をつけながら書く。 	
		31	3			
		32	3			
33		1	終業式			
3 学期	1 月	34	1	課題解決のために会議を開く 温かいスープ アラスカとの出会い 律儀な桜	<ul style="list-style-type: none"> 互いの考えを生かしながら議論や討論をする。 随筆を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。 	
		35	3			百人一首
		36	3			
		37	3			
	2 月	38	3	わたしを束ねないで 初日 国語の力試し	<ul style="list-style-type: none"> 詩に込めた作者の思いを想像し、現代に生きる自分たちの可能性について話し合う。 詩の中の言葉を根拠として挙げながら、詩に描かれた情景や作者の思いを想像する。 間違ったところを改めて見直したり、それぞれの設問に関連する教材に立ち戻って、学習の要点を確認したりする。 	
		39	2			作品展
		40	2			
		41	2			定期考査
	3 月	42	2	三年間の歩みを振り返ろう	<ul style="list-style-type: none"> 冊子にまとめて、発表会をする。 	
		43	2			遠足(3)
		44	0			卒業式
45		0	修了式			